

中期経営計画(2021年4月～2024年3月)

# 共創 2024

～Challenge for the Future～



# Contents

---

1. 前中期経営計画レビュー
  2. 当社を取り巻く環境
  3. 当社の強み
  4. 中期経営計画の概要
-

# 1 前中期経営計画レビュー

【Evolution for Next ～お客様と共に、目指す未来へ】

## 企業力強化

### 基本方針

- ・業務効率化による対外営業力のパワーアップ
- ・情報力、人材力強化による高付加価値の創造

## 事業領域の拡大

### 基本方針

- ・当社の強みを発揮できる分野へ事業領域を拡大（成長分野、事業開発型など地場情報を活用した様々な領域へ）



## 事業戦略

### 重点施策

- ① 情報基盤の拡大・深耕
- ② 充実した総合金融サービスの提供
- ③ 新規事業による基盤拡大



## 機能戦略

### 重点施策

- ① 業務の効率化
- ② 人材の採用と育成
- ③ リスク管理とCSR

# 1 前中期経営計画レビュー

## 「企業力の強化」における実施施策と成果

### 基本方針

### 実施施策と成果

#### 企業力の強化

- **組織体制の見直し**
  - ✓ 本部制を廃止して組織をフラット化
  - ✓ 契約関連事務業務の統合
- **全社的業務プロセスの見直し、ITの活用**
  - ✓ RPAの導入による事務作業の自動化
  - ✓ 電子契約書導入への取組
- **コーポレートガバナンスの充実**
  - ✓ 指名報酬諮問委員会の設置
- **企業ブランド向上への取組み**
  - ✓ 当社初のテレビCM放映
  - ✓ 地域の自然や伝統技術・文化を紹介するテレビ番組への協賛
  - ✓ 当社株式の賃借銘柄選定
- **CSR活動の推進**
  - ✓ 飲酒運転撲滅運動を行うNPOへの支援
  - ✓ 九州北部豪雨などの被災地への支援

# 1 前中期経営計画レビュー

## 「事業領域の拡大」における実施施策と成果

### 基本方針

### 実施施策と成果

#### 事業領域の拡大

- 提携金融機関やサプライヤー、不動産開発業者等の多様なアライアンス先との連携・協働
- トランクルーム事業の本格稼働（キューディーアセット(株)/連結子会社）
- 金融機関の不動産ローンへの保証業務開始（(株)ケイエルエス信用保証/連結子会社）
- Avant Mall菊陽（熊本）等、建物リースを活用した複合商業施設の開発
- 九州経済の活性化を支援する新たなファンドを金融機関と共同で設立
- 地場優良企業との共同プロジェクトへの取組み
  - ✓ 開発型SPCを活用したオフィスビル開発（福岡県中央区）※民間都市再生整備事業計画認定
  - ✓ 関東における物流施設事業
- IT分野特化型ファンドへの出資
- 農畜産業・医療分野への取組み拡大
- 中古機械シェアリング事業の展開（Sharing FACTORY）

# 1 前中期経営計画レビュー

コロナ禍においても成長トレンドを堅持し、KPI全項目を達成

	2018/3期		2021/3期 計画		2021/3期 実績
売上高	232億		250億		283億
営業利益	31億		35億		36億
営業資産	1,217億	➤	1,330億	➤	1,362億
純資産	272億		320億		320億
配当性向	10%		20%		20%

# 当社を取り巻く環境

前中期経営計画期間において、当社を取り巻く環境は大きく変化

## 社会・経済環境

- Withコロナ、ニューノーマルの定着
- SDGs、ESG投資、脱炭素(カーボンニュートラル)に対する意識の高まり
- 人口減少、少子高齢化の進展
- 労働環境の変化、働き方改革、テレワークの普及
- 東京証券取引所再編の動き

## 業界環境

- 新リース会計基準適用の動き
- 業種の垣根を越えた再編加速(経営統合・業務提携)
- 低金利環境の継続
- 海外事業展開の拡大と見直し
- 航空機事業の停滞

## エリア環境

- 九州経済の中心である「福岡市」の高いポテンシャル
  - ✓ 政令指定都市No.1の人口増加率、新規開業率
  - ✓ 大型再開発プロジェクト(天神ビッグバン、博多コネクティッド等)
  - ✓ アジアのゲートウェイ(玄関口)としての重要性
- 新幹線/西九州ルート of 建設、福岡空港拡張など、九州各エリアの開発PJ
- 九州固有の経済資源(自動車・半導体・農業・観光等)

# 当社の強み

当社の強みは、九州+東京に展開する支店網および取引先や地域金融機関との強固な信頼関係を基盤とした総合金融サービス提供力。





# 中期経営計画の概要

## (1) テーマ

### < 共創 2024 > ~Challenge for the Future~

#### 共創の主体は「We」

- ・ 役職員それぞれが「九州リースサービス」の未来を想い、一丸となって同じ目的に向かい邁進。
- ・ 九州発の総合金融サービス企業として、様々なステークホルダー(株主様、お取引先様、地域・社会、従業員など)と共に、新たな価値や豊かな未来を創造。

当社の企業理念である「共存共栄」・「地域貢献」にも通じる精神

# 中期経営計画の概要

## (2) 基本的な考え方

### 更なる成長への挑戦

「環境関連ビジネス」の強化、業務提携・M&Aによる「新たな事業領域への挑戦」に加えて、当社コア事業の中でも「ファイナンス・不動産」アセットを積極的に積み増すなどして「事業基盤の拡充」に取り組むことで、向こう3ヶ年を当社の「更なる成長への挑戦」のステージと位置付ける。

### レジリエントな経営基盤の構築

全社的な「業務フロー改革」、社員のマルチスキル化による「人財の育成」、および営業資産の拡大に相応しい「ガバナンス態勢を強化」するなど「企業態勢の高度化」に取り組むことで、いかなる環境変化にも柔軟かつ適切に対応できる「レジリエントな経営基盤の構築」に繋げる。

※レジリエント：弾力性、復元性のある ⇒ 柔軟かつ強靱な

# 中期経営計画の概要

## (3) 基本方針と重点戦略

### 基本方針

### 事業基盤の拡充

### 重点戦略

#### 環境関連分野への取組強化

業務横断的・全社的な取組強化により、社会課題の解決へ貢献



#### 新たな事業領域への挑戦

核となる新たな収益基盤の確立と広範な新ビジネスへの取組



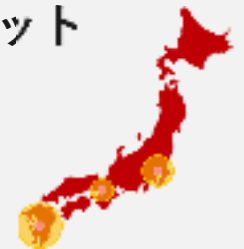
#### コア事業の更なる深化

ファイナンス・不動産事業へ経営資源を配置しつつ、全分野において業容拡大



#### 地方創造への貢献、新たなマーケットへの進出

地域のマーケット特性に応じた、中長期的戦略の実行



## (4) 基本方針と重点戦略

## 基本方針

## 企業態勢の高度化

## 重点戦略

## 業務フロー・リソース改革

業務効率化による営業時間創出のため、  
大胆かつ効果的な改革実施



## 人財の育成（人材⇒人財）

“人財”を最も重要な経営資源の一つと位置付け、  
マルチスキル人財の育成



## ガバナンス態勢の強化

事業規模の拡大に合わせたコンプライアンス  
態勢・リスク管理態勢の強化



# 中期経営計画の概要

## (5) 目指す姿とKPI

Evolution for Next  
～お客様と共に、目指す未来へ～

共創 2024  
～Challenge for the Future～

営業利益：31億  
営業資産：1,217億

営業利益：36億  
営業資産：1,362億

営業利益：40億  
営業資産：1,660億

★  
2024/11  
創立50周年

2018/3期

2018/4期～  
2021/3期

2021/4期～  
2024/3期

未来

九州発「存在感」のある  
総合金融サービス業として

地域・社会への貢献

ステークホルダー  
エンゲージメントの充実

お客様

株主様

従業員

## 【お問い合わせ先】

株式会社九州リースサービス 総合企画部

TEL 092-431-2915

ホームページ：<https://www.k-lease.co.jp/>

### ■本資料の注意点

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- ・本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。